

1月消費支出 0.3%減

家計調査旅行・外食増で前月比プラス

総務省が10日発表した1月の家計調査によると、1世帯（2人以上）当たりの消費支出は30万1646円で、物価変動の影響を除いた実質で前年同月比0.3%減少しました。マイナスは3カ月連続ですが、減少幅は縮小。前月比（季節調整済み）では2.7%増と3カ月ぶりのプラスでし

た。新型コロナウイルスの沈静化で宿泊や外食関連の支出が増えた一方、物価高騰やコロナ下の巣ごもり需要の反動で食料や家庭用耐久財は減少しました。食料は0.5%減。米などの穀類が4.9%、魚介類が13.0%それぞれ減少しました。家具・家事用品は9.1%減で、洗濯機や

炊飯器などの家庭用耐久財が11.0%減少しました。宿泊料などの教養娯楽サービスは30.7%、外食は14.5%の大幅増でした。

宿泊や外食向けの伸びは、政府の観光需要喚起策「全国旅行支援」や正月休みの外出増が背景にあります。総務省の担当者は、消費動向について「価格高騰の影響は出ているが、家庭内の食事が減り、外食が増える傾向が続いている」としています。

きのこの山 30年ぶり値上げ

明治

アイスクリーム減量

明治は9日、チョコレート菓子「きのこの山」（写真）と「たけのこの里」を6月1日出荷分から約8%値上げすると発表しました。両商品の値上げは、2015年の内容量変更を除けば1992年以来、約30年ぶり。

砂糖など原材料の価格や物流費の高騰が理由。アイスクリーム「明治 エッセル スーパーカップミニ 超バニラ」の6個入りは、5月29日発売分から1個90%の内容量を80%に減らす実質値上げを行います。「アーモンドチョコレート」は7月4日から88%を79%に減らします。

